

事業概要

Ⅱ 各課の事業概要

1 健康科学課

健康科学課は、細菌、ウイルス、臨床（表 1-1）及び理化学検査に関する試験検査業務を実施し調査研究、並びに研究所の管理運営を行っている。

細菌検査では、食中毒、苦情食品、収去食品、飲料水、プール水、河川水、浴槽水及び結核・感染症発生動向調査事業等に係る試験検査及び調査研究を行っている。

ウイルス検査では、結核・感染症発生動向調査事業に係る検査と調査研究、並びに食中毒及び感染症の集団発生時の検査を実施している。

臨床検査では、三歳児健康診査、被爆者健康診断に係る検査の他、特定感染症検査等事業実施要綱に基づき HIV 抗体検査等を実施している。

理化学検査では、食品、家庭用品等について GLP（検査結果の信頼性を担保するための検査業務管理制度）に則した試験検査のほか、食中毒・苦情食品等の理化学検査や飲料水及びプール水等の水質検査、医薬品等検査、室内空気中の化学物質検査などを実施している。

（1）細菌検査

ア 病原細菌検査

赤痢予防対策実施要綱に基づき、給食従事者及び保健所職員の定期検便等を実施した（表 1-2）。赤痢菌、チフス菌及び腸管出血性大腸菌等の病原菌は検出されなかった。

感染症法に基づき、感染症発生時に細菌検査を実施した（表 1-3）。

イ 食中毒発生時及び苦情食品の検査

食中毒及び苦情に伴う患者便、食品、拭き取り等について原因菌の検索を行った（表 1-4）。原因菌として、カンピロバクター属菌が検出された。

ウ 収去食品等の細菌検査

食品衛生法に基づく規格基準、千葉市の指導基準及び食品の汚染状況に係る細菌検査を実施した（表 1-5）。

エ 水質検査

水道法に基づく飲料水検査、千葉市遊泳用プール指導要綱に基づくプール水検査及び環境基本法等に基づく事業場排水、河川水、海水、海水浴場水の検査を実施した。また、公衆浴場法及び特定建築物維持管理指導要綱に基づき、浴槽水、冷却塔水等のレジオネラ検査を実施した。

水質細菌検査の種類及び項目数については、表 1-6 のとおりである。

（2）ウイルス検査

ア 結核・感染症発生動向調査事業に係るウイルス検査（表 1-7）

（ア）麻疹ウイルス及び風疹ウイルス検査

保健所から依頼された咽頭ぬぐい液 41 検体、血液 42 検体及び尿 33 検体の計 116 検体について実施した。その結果、麻疹ウイルス A 型（ワクチン株）が 1 症例 1 検体から検出された。

（イ）デングウイルス及びチクングニアウイルス検査

保健所から依頼された血液 11 検体、尿 2 検体及び咽頭ぬぐい液 3 検体の計 16 検体について検査を実施した。その結果、デングウイルス 2 型が 1 検体、デングウイルス 3 型が 3 検体から検出された。

（ウ）その他のウイルス検査

保健所及び病原体定点から依頼された咽頭ぬぐい液、糞便及び髄液等 479 検体について検査を実施した。

イ 食中毒及び感染症の集団発生時のウイルス検査（表 1-8）

食中毒及び感染症の集団発生時の食品、糞便及び拭き取り検体について、ノロウイルス及びその他のウイルス検査を実施した。また、ウイルスが検出された一部の検体については遺伝子解析（シーケンシング）を実施した。

ウ 寄生虫検査

保健所から依頼された 2 検体について検査を実施した（表 1-1）。その結果、アニサキスが 1 検体から検出された。

エ 蚊媒介感染症に関する定点モニタリング検査

保健所から依頼された蚊の虫体 21 検体（94 匹）について、デングウイルス及びチクングニアウイルスの検査を実施した（表 1-1）。その結果、全ての検体で不検出であった。

（3）臨床検査

ア 三歳児健康診査

三歳児健康診査について尿検査（一次、二次）を行った。一次検査は糖、蛋白、潜血、白血球、亜硝酸塩、比重について、二次検査は糖、蛋白、潜血、白血球、亜硝酸塩に沈査を追加して行った（表 1-9）。

一次検査 7,276 件のうち、有所見（糖・蛋白・潜血が±以上、白血球・亜硝酸塩が+以上）により行った二次検査数は 687 件（9.4%）であった。

イ 被爆者健康診断

被爆者健康診断に係る尿検査を行った（表 1-9）。

ウ HIV 抗体検査

特定感染症検査等事業に係る HIV 抗体検査を行った。スクリーニング及び確認検査は合計 688 件であり、最終判定で陽性は 5 件であった（表 1-10）。

表 1-1 平成 27 年度 健康科学課（細菌・ウイルス・臨床）検査件数

総 計		59,697
細菌	病原細菌	693
	食中毒細菌	5,506
	食品細菌	1,840
	結核菌	-
	飲料水細菌	1,237
	プール水細菌	24
	河川水、放流水等の細菌	223
	冷却塔水、浴槽水等	34
真菌	分離培養	-
ウイルス	分離同定(含食中毒、食品及び蚊)	1,288
	HIV 抗体検査 (スクリーニング)	688
寄生虫	種同定	2
臨床	尿一般	48,162

表 1-2 平成 27 年度 腸内細菌検査実施状況

項 目	件 数
赤痢菌、チフス菌	276
腸管出血性大腸菌等	303
計	579

表 1-3 平成 27 年度 感染症発生時細菌検査実施状況

項 目	患者及び接触者等
赤痢菌	4
チフス菌	8
コレラ菌	3
腸管出血性大腸菌	44
その他	55
計	114

表 1-4 平成 27 年度 食中毒発生時及び苦情食品等の細菌検査実施状況

区 分		総数	食品	糞便	吐物	ふきとり	その他
検 体 数		383	15	318	0	45	5
項 目 数		5,506	175	4,646	-	675	10
検 査 項 目	生菌数	0	-	-	-	-	-
	大腸菌群	0	-	-	-	-	-
	E.coli	0	-	-	-	-	-
	ビブリオ属菌	364	11	308	-	45	-
	黄色ブドウ球菌	370	13	312	-	45	-
	サルモネラ属菌	368	13	310	-	45	-
	カンピロバクター	369	13	311	-	45	-
	腸管出血性大腸菌	367	13	309	-	45	-
	病原大腸菌	364	11	308	-	45	-
	セレウス菌	382	13	314	-	45	10
	ウェルシュ菌	365	11	309	-	45	-
	エルシニア	364	11	308	-	45	-
	エロモナス	364	11	308	-	45	-
	プレジオモナス	364	11	308	-	45	-
	赤痢菌	364	11	308	-	45	-
	コレラ菌	364	11	308	-	45	-
チフス菌	364	11	308	-	45	-	
パラチフス菌	364	11	308	-	45	-	
その他の菌	9	-	9	-	-	-	
状 検 況 出	<i>Campylobacter jejuni</i>	12	-	12	-	-	-

表 1-5 平成 27 年度 収去食品等の細菌検査実施状況

項目 分類	総数	細菌検査項目																				
		細菌数	大腸菌群	E.coli: MPN	E.coli:	乳酸菌数	ビブリオ属菌	腸炎ビブリオ最確数	黄色ブドウ球菌	サルモネラ属菌	カンピロバクター	腸管出血性大腸菌	セレウス菌	ウエルシュ菌	リステリア	クロストリジウム属菌	恒温試験	腸球菌	VRE	緑膿菌	細菌試験	抗生物質
項目数	1,840	275	171	9	146	6	690	33	186	139	88	71	3	-	3	-	5	-	-	-	5	10
魚介類	241	23	-	9	14	-	138	33	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
冷凍食品 (無加熱摂取)	4	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
冷凍食品 (凍結前加熱)	32	16	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
冷凍食品 (凍結前未加熱)	54	27	-	-	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
魚介類加工品	227	17	19	-	15	-	132	-	12	10	7	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
肉卵類及び その加工品	320	35	5	-	25	-	66	-	49	78	37	24	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
乳製品	34	6	19	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
アイスクリーム類 氷菓	20	10	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
穀類及び その加工品	426	53	16	-	37	-	198	-	53	33	33	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
野菜類・果実及び その加工品	310	34	23	-	27	-	150	-	17	17	10	30	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
菓子類	120	40	40	-	-	-	-	-	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
清涼飲料水	10	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
牛乳	20	10	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加工乳(3%未満)	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の食品	20	1	-	-	1	-	6	-	1	1	1	1	-	-	-	-	4	-	-	-	4	-

表 1-6 平成 27 年度 水質細菌検査実施状況

検査項目	件数
飲料水	
一般細菌	503
大腸菌	630
嫌気性芽胞菌	104
小計	1,237
プール水	
一般細菌	12
大腸菌群	12
小計	24
事業場排水	
大腸菌群数	98
河川水、海水	
大腸菌群数(最確数)	124
海水浴場水	
EHEC O157	1
小計	223
浴槽水・冷却塔水等	
レジオネラ	34
小計	34
総計	1,518

表 1-7 平成 27 年度 結核・感染症発生動向調査事業に係るウイルス等検査実施状況

		咽頭ぬぐい液 (うがい液含む)	鼻汁	糞便 等	髄液	尿	血液	その他	計
検 体 数	病原体定点	38	285	17	-	-	-	9	349
	保健所	92	11	18	22	41	72	6	262
	計	130	296	35	22	41	72	15	611
検 出 状 況	インフルエンザウイルス	6	79	-	-	-	-	4	89
	エンテロウイルス	-	6	-	-	-	-	-	6
	コクサッキーウイルス	7	3	1	-	-	-	1	12
	エコーウイルス	1	1	-	-	-	-	-	2
	ヒトライノウイルス	6	78	-	-	-	-	-	84
	ヒトコロナウイルス	-	12	-	-	-	-	-	12
	RS ウイルス	4	63	-	-	-	-	1	68
	ヒトメタニューモウイルス	12	36	-	-	-	-	-	48
	パラインフルエンザウイルス	-	24	-	-	-	-	-	24
	ヒトボカウイルス	-	37	-	-	-	-	1	38
	アデノウイルス	22	6	-	-	-	-	-	28
	ヒトヘルペスウイルス	10	-	-	1	-	2	-	13
	水痘帯状疱疹ウイルス	-	-	-	-	-	-	1	1
	ヒトパルボウイルス B19	1	-	-	-	-	1	-	2
	ムンプスウイルス	-	-	-	1	-	-	-	1
	麻疹ウイルス	1	-	-	-	-	-	-	1
	A 型肝炎ウイルス	-	-	2	-	-	-	-	2
	ノロウイルス	-	-	10	-	-	-	-	10
	サポウイルス	-	-	3	-	-	-	-	3
	ロタウイルス	-	-	1	-	-	-	-	1
デングウイルス	-	-	-	-	-	4	-	4	
オリエンティア・ツツガムシ	-	-	-	-	-	1	-	1	

表 1-8 平成 27 年度 食中毒及び感染症の集団発生時のウイルス検査実施状況

		食品	糞便	吐物	拭き取り	その他	計
検 体 数	食中毒	128	393	-	65	-	586
	感染症	-	70	-	-	-	70
	計	128	463	-	65	-	656
項 目 別 検 体 数	ノロウイルス	128	443	-	65	-	636
	その他のウイルス (※)	7	394	-	45	-	446
	遺伝子解析	5	110	-	-	-	115
	計	140	947	-	110	-	1,197
検 出 状 況	ノロウイルス GI	2	24	-	-	-	26
	ノロウイルス GII	4	131	-	-	-	135
	サポウイルス	-	25	-	-	-	25
	アストロウイルス	-	3	-	-	-	3
	ロタウイルス	-	2	-	-	-	2

(※) その他のウイルス：サポウイルス、アストロウイルス、ロタウイルス及びアデノウイルス

表 1-9 平成 27 年度 臨床検査実施状況

検査項目		区 分	総 数	内 訳			被爆者健診
				三歳児健診			
				一次	二次	合計	
尿	糖		8,059	7,276	687	7,963	96
	蛋白		8,059	7,276	687	7,963	96
	ウロビリノーゲン		96	-	-	-	96
	潜血反応		8,059	7,276	687	7,963	96
	白血球		7,963	7,276	687	7,963	-
	亜硝酸塩		7,963	7,276	687	7,963	-
	比重		7,276	7,276	-	7,276	-
	沈渣		687	-	687	687	-

表 1-10 平成 27 年度 HIV抗体検査実施状況

項目	件数	陽性数
スクリーニング検査	688	5
確認検査	5	5

(4) 理化学検査

ア 食品等検査

平成 27 年度の理化学検査総数は、食品等 1,076 検体、21,976 項目であった。

(7) 食品中の添加物等検査、乳及び乳製品・容器包装等の規格試験検査、重金属検査、自然毒検査

a 添加物等検査

甘味料 316 項目、着色料 1,932 項目、保存料 262 項目、酸化防止剤 108 項目、漂白・殺菌剤 13 項目、発色剤 21 項目、防ばい剤 2 項目、品質保持剤 11 項目、乳化剤 10 項目を実施した(表 1-11-1)。

b 乳及び乳製品

乳等規格検査 57 項目を実施した(表 1-11-1)。

c 容器包装等規格検査

容器包装等規格検査 43 項目(器具容器包装の重金属検査 17 項目を含む)を実施した(表 1-11-1)。

d 重金属検査

魚介類、清涼飲料水、器具容器包装などについて 117 項目(容器包装等規格検査項目に計上した器具容器包装の重金属 17 項目及び添加物規格(重金属)の 4 項目を含む)を実施した(表 1-11-1~2)。

e 自然毒検査

カビ毒、貝毒について 10 検体 13 項目を実施した(表 1-11-1、表 1-11-3)。

(イ) 農産物等の残留農薬検査

穀類及びその加工品 5 検体 810 項目、農産物(豆類、果実、野菜、種実、茶) 86 検体 14,309 項目、学校給食食材 10 検体 10 項目、その他の食品 10 検体 774 項目、苦情品 6 検体、342 項目を実施した。

以上、全体で 194 種類の農薬について、合計 117 検体 16,245 項目の検査を実施した(表 1-11-1、表 1-11-4-1~4)。

(ロ) 畜水産物中の残留動物用医薬品の検査

乳(生乳・牛乳・加工乳) 13 検体 208 項目、鶏卵 9 検体 171 項目、食肉(牛肉・豚肉・鶏肉) 39 検体 816 項目(うち 2 検体 2 項目は学校給食)、魚介類(コイ・マダイ等 9 種) 19 検体 118 項目を実施した。

以上、23 種類の動物用医薬品について 80 検体 1,313 項目の検査を実施した(表 1-11-5)。

(ハ) 組換え DNA 技術応用食品の検査

トウモロコシ 5 検体 5 項目の検査を実施した(表 1-11-6)。

(ニ) 流通食品中の放射能検査

東京電力福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質の汚染状況について、流通食品および給食(提供食・食材)の検査を 631 検体実施した。(表 1-11-7)。

(ホ) 苦情食品検査

保健所から依頼された苦情食品検査は 26 検体で、依頼項目は 589 項目であった(表 1-11-8~9)。

イ 家庭用品の規格検査

「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」に基づき、健康被害を防止するため、ホルムアルデヒド等 11 物質について検査を行った。内訳は繊維製品 13 種 127 項目、家庭用化学製品 8 種 34 項目であり、合計 21 種 161 項目の検査を実施した(表 1-12)。

ウ 飲料水等及び遊泳用プール水の水質検査

飲料水等の水質検査は、水道法の「水質基準に関する省令」に基づき、51 基準項目(31 健康項目+20 性状項目)について実施した。また、「千葉市遊泳用プール指導要綱」に基づきプール水の検査を行なった。

平成 27 年度の全検査件数は 788 件で、このうち飲料水等の水質検査は 775 件、プール水は 13 件であった(表 1-13-1)。

自家用井戸水の検査件数 339 件中 52 件(15.3%)で不適項目があった(表 1-13-2)。

必須項目検査を実施した自家用井戸水(241 件)の検査結果を区別、項目別に集計した(表 1-13-3)。また、平成 27 年度に検査を実施した飲料水等の検査項目別理化学検査件数と不適合数を表 1-13-4 に示した。なお、プール水の検査状況は表 1-13-5 のとおりであった。

エ 室内空気化学物質の検査

建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づく依頼検査を 5 件 25 検体について実施した(表 1-14)。

表 1-11-1 平成 27 年度 食品理化学等検査実施状況

検査項目 検査検体の種類	総検体数	食品添加物等										乳等規格	容器包装等規格	重金属	カビ毒・貝毒	残留農薬	動物用医薬品	組換えDNA技術応用食品	放射能	その他	総検査項目数	
		甘味料	着色料	保存料	酸化防止剤	漂白・殺菌剤	発色剤	防ばい剤	品質保持剤	乳化剤												
検査区分合計	1,076	316	1,932	262	108	13	21	2	11	10	57	43	11	100	13	16,245	1,313	5	1,262	252	21,976	
食品等	魚介類	80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48	6	-	118	-	110	2	284	
	冷凍食品	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,054	-	-	-	-	2,054	
	魚介類加工品	47	76	408	81	6	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	588	
	肉卵類及びその加工品	76	-	156	15	12	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	987	-	22	-	1,207	
	乳製品	48	24	60	32	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	52	-	172
	乳類加工品	6	-	-	9	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	27
	アイスクリーム類・氷菓	10	20	120	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	147
	穀類及びその加工品	31	6	132	3	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	810	-	5	14	11	992
	野菜類・果物及びその加工品	201	60	330	61	8	12	-	2	-	-	-	-	-	7	13,039	-	-	142	-	13,661	
	菓子類	50	110	606	41	70	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	837
	清涼飲料水	49	20	120	20	-	-	-	-	-	-	-	-	40	-	-	-	-	-	78	-	278
	かん詰・びん詰食品	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	12
	その他の食品	384	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	768	-	768
	添加物及びその製剤	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	4	-	-	-	-	-	-	15
	器具容器包装	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	43	-	-	-	-	-	-	-	-	43
	生乳	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	32	-	-	-	36
	牛乳	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40	-	-	-	-	-	160	-	24	-	224
加工乳(乳脂肪分3%未満)	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	16	-	2	-	20	
その他の乳	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	22	
小計	1,050	316	1,932	262	108	13	21	2	11	10	57	43	11	92	13	15,903	1,313	5	1,262	13	21,387	
苦情品(食品等)	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	342	-	-	-	239	589	

表 1-11-2 平成27年度 重金属検査

項目名	検体名																総計	
		アユ	ウナギ	クルマエビ	コイ	スズキ	ニジマス	ハマチ・ブリ	ヒラメ	マダイ	アサリ	ホタテガイ	ムールガイ	清涼飲料水	器具容器包装	添加物		苦情品
検体数		1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	10	5	2	2	33	
ヒ素		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	2	12	
鉛		-	-	-	-	1	2	-	-	-	1	1	1	10	-	-	2	18
カドミウム		-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	1	10	-	-	2	16
スズ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	2	12
マンガン		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
亜鉛		-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	4
水銀		1	1	1	1	1	-	2	1	1	1	1	1	-	-	-	-	12
銅		-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	4
TBTO		-	-	1	-	1	-	2	1	1	1	1	1	-	-	-	-	9
TPT		-	-	1	-	1	-	2	1	1	1	1	1	-	-	-	-	9
メチル水銀		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
ヒ素 (添加物規格)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2
鉛 (添加物規格)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
重金属 (添加物規格)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2
重金属 (容器包装規格)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	5
鉛 (容器包装規格)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	5
カドミウム (容器包装規格)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	5
アンチモン (容器包装規格)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
ゲルマニウム (容器包装規格)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
合計		1	1	3	1	7	2	6	3	3	7	7	7	40	17	4	8	117

表 1-11-3 平成27年度 自然毒検査

項目名	検体名						総計	
		らつかせい	カシユーナッツ	アーモンド	アサリ	ムールガイ		ホタテガイ
検体数		5	1	1	1	1	1	10
アフラトキシン		5	1	1	-	-	-	7
下痢性貝毒		-	-	-	1	1	1	3
麻痺製貝毒		-	-	-	1	1	1	3
合計		5	1	1	2	2	2	13

表 1-11-4-1 平成27年度 農作物等の残留農薬検査（検体種別 収去・買上検査）

分類	検体種	検体数	項目数
穀類及びその加工品	小麦粉	5	810
豆類	らっかせい	5	750
果実	いちご	2	346
野菜	未成熟いんげん	1	172
	キャベツ	8	1,347
	きゅうり	5	865
	ごぼう	2	341
	こまつな	7	1,034
	さといも	4	667
	サラダ菜	1	173
	しゅんぎく	1	174
	すいか	2	346
	だいこん	2	352
	たまねぎ	1	171
	チンゲン菜	1	174
	トマト	4	704
	なす	1	176
	菜の花	1	161
	にんじん	6	1,049
	ねぎ	4	684
	はくさい	1	173
	ばれいしょ	1	167
	ピーマン	4	692
	ブロッコリー	3	503
	ほうれんそう	8	1,350
	らっきょうその他ユリ科	1	171
レタス	2	346	
わけねぎ	1	171	
種実類	アーモンド	1	150
	その他のナッツ類	1	150
茶	茶	5	750
その他	冷凍食品等	10	774
	合 計	101	15,893

表 1-11-4-2 平成27年度 農作物等の残留農薬検査（検体種別 給食食材）

分類	検体種	検体数	項目数
野菜	キャベツ	1	1
	きゅうり	1	1
	こまつな	1	1
	チンゲン菜	1	1
	トマト	1	1
	ねぎ	1	1
	はくさい	1	1
	ピーマン	1	1
	ブロッコリー	1	1
果物	りんご	1	1
	合 計	10	10

表 1-11-4-3 平成27年度 農作物等の残留農薬検査（農薬別 収去・買上、給食食材検査数）

農薬名	検査数	農薬名	検査数	農薬名	検査数
BHC	92	ジスルホトン	8	フェンバレレート（合算）	92
DDT	85	シハロトリン（合算）	92	フェンプロコナゾール	87
EPN	17	ジフェナミド	92	フェンプロパトリン	92
XMC	85	ジフェノコナゾール（合算）	92	フェンプロビモルフ	85
アクリナトリン	92	シフルトリン（合算）	92	フサライド	92
アザコナゾール	87	ジフルベンズロン	65	ブタミホス	100
アジンホスエチル	8	シプロコナゾール（合算）	92	ブピリメート	92
アジンホスメチル	8	シベルメトリン（合算）	85	ブプロフェジン	92
アセタミプリド	82	シマジン	92	フラムプロップメチル	92
アセトクロール	92	ジメタメトリン	87	フルアクリピリム	92
アセフエート	8	ジメチルビンホス（合算）	100	フルシトリネート（合算）	92
アトラジン	77	ジメトエート	100	フルシラゾール	92
アメトリン	56	ジメピペレート	92	フルトラニル	77
アルジカルブ	65	シラフルオフェン	85	フルトリアホール	92
アルドリン及びディルドリン	40	スルプロホス	8	フルバリネート（合算）	92
イサゾホス	92	ダイアジノン	100	フルフェノクスロン	65
イソキサチオン（代謝体含）	100	チオベンカルブ	92	フルミオキサジン	92
イソフェンホス	100	チオメトン	95	フルミクロラックベンチル	77
イソプロカルブ	92	テトラクロルビンホス	92	ブレチラクロール	92
イソプロチオラン	92	テトラジホン	92	プロシミドン	92
イブロジオン	92	テニルクロール	92	プロチオホス	93
イブロバリカルブ	65	テブコナゾール	92	プロバクロール	87
イブロベンホス	100	テブフェノシト	65	プロバニル（DCPA）	77
イマザメタベンズメチルエステル	80	テブフェンピラド	92	プロバホス	8
イミベンコナゾール	83	テフルトリン	92	プロバルギット（合算）	92
エスプロカルブ	92	テフルベンズロン	65	プロビコナゾール（合算）	92
エチオン	100	デルタメトリン	92	プロビザミド	92
エディフェンホス	100	テルブホス	100	プロフェノホス	100
エトフメセート	92	トリアジメノール（合算）	92	プロボキシル	92
エトプロホス	100	トリアジメホン	92	プロマシル	92
エトリムホス	100	トリアゾホス	92	プロメトリン	92
エンドスルファン（和）	92	トリアレート	85	プロモブチド	92
エンドリン	34	トリブホス（DEF）	92	プロモプロビレート	92
オキサジアゾン	92	トリフロキシストロピン	92	プロモホスエチル	8
オキサジキシル	92	トルクロホスメチル	100	プロモホスメチル	92
オキサミル	65	トルフェンピラド	92	ヘキサジノン	87
オキシフルオルフェン	92	ナプロバミド	92	ベナラキシル	92
オメトエート	8	ニトロタールイソプロピル	92	ベノキサコル	92
カズサホス	100	ノルフルラゾン	92	ヘプタクロール	85
カルバリル	65	バクロブトラゾール	92	ベルメトリン（合算）	85
カルフェントラゾンエチル	92	バミドチオン	8	ベンダイオカルブ	65
カルボフラン	92	バラチオン	99	ベンディメタリン	92
キナルホス	64	バラチオンメチル	100	ベンフルラリン	87
キノキシフェン	92	ハルフェンブロックス	85	ベンフレセート	92
キノクラミン	51	ビテルタノール（合算）	92	ホサロン	100
キントゼン	80	ピフェントリン	92	ホスチアゼート（合算）	100
クマホス	8	ビペロホス	92	ホスファミドン	95
クロマゾン	92	ビラクロホス	100	ホスメット	85
クロルタールジメチル（TCTP）	92	ビラゾホス	92	ホルモチオン	8
クロルデン	85	ビリダフェンチオン	100	ホレート	95
クロルピリホス	110	ビリダベン	92	マラチオン	100
クロルピリホスメチル	100	ビリフェノックス（和）	92	ミクロブタニル	87
クロルフェンビンホス（合算）	100	ビリプロキシフェン	92	メタミドホス	8
クロルフルアズロン	65	ビリミカルブ	65	メトラキシル	92
クロルプロファム	92	ビリミホスメチル	100	メチオカルブ	92
クロルベンジレート	92	ピンクロゾリン	92	メチダチオン	100
サリチオン	8	フェナミホス	100	メトキシクロル	92
シアノフェンホス	8	フェナリモル	92	メトミノストロピン（和）	92
シアノホス	100	フェニトロチオン	100	メトラクロール	92
ジエトフェンカルブ	92	フェノチオカルブ	92	メフェナセツト	92
ジクロフェンチオン	8	フェノトリン（合算）	85	メプロニル	92
ジクロホップメチル	92	フェノブカルブ	65	モノクロトホス	95
ジクロラン	92	フェンスルホチオン	95	ルフェヌロン	65
ジクロルボス	8	フェンチオン	100	レナシル	88
ジコホール（合算）	77	フェントエート	100	合計	15,903

表 1-11-4-4 平成27年度 苦情食品、食中毒等の残留農薬検査（農薬別検査数）

農薬名	検査数	農薬名	検査数	農薬名	検査数
BHC	0	ジスルホトン	6	フェントエート	6
DDT	0	シハロトリン（合算）	0	フェンバレレート（合算）	0
EPN	6	ジフェナミド	0	フェンブコナゾール	0
XMC	0	ジフェノコナゾール（合算）	0	フェンプロバトリン	0
アクリナトリン	0	シフルトリン（合算）	0	フェンプロピモルフ	0
アザコナゾール	0	ジフルベンズロン	0	フサライド	0
アジンホスエチル	6	シブコナゾール（合算）	0	ブタミホス	6
アジンホスメチル	6	シベルメトリン（合算）	0	ブピリメート	0
アセタミプリド	0	シマジン	0	ブプロフェジン	0
アセトクロール	0	ジメタメトリン	0	フラムプロップメチル	0
アセフエート	6	ジメチルビンホス（合算）	6	フルアクリピリム	0
アトラジン	0	ジメトエート	6	フルシトリネート（合算）	0
アメトリン	0	ジメピペレート	0	フルシラゾール	0
アルジカルブ	0	シラフルオフェン	0	フルトラニル	0
アルドリン及びディルドリン	0	スルプロホス	6	フルトリアール	0
イサゾホス	0	ダイアジノン	6	フルバリネート（合算）	0
イソキサチオン（代謝体含）	6	チオベンカルブ	0	フルフェノクスロン	0
イソフェンホス	6	チオメトン	6	フルミオキサジン	0
イソプロカルブ	0	テクナゼン	0	フルミクロラックペンチル	0
イソプロチオラン	0	テトラクロロルビンホス	0	プレチラクロール	0
イブロジオン	0	テトラジホン	0	プロシミドン	0
イブロバリカルブ	0	テニルクロール	0	プロチオホス	6
イブロベンホス	6	テブコナゾール	0	プロバクロール	0
イマザメタベンズメチルエステル	0	テブフェノシト	0	プロバニル（DCPA）	0
イミベンコナゾール	0	テブフェンピラド	0	プロバホス	6
エスプロカルブ	0	テフルトリン	0	プロバルギット（合算）	0
エチオン	6	テフルベンズロン	0	プロビコナゾール（合算）	0
エディフェンホス	6	デルタメトリン	0	プロビザミド	0
エトフメセート	0	テルブホス	6	プロフェノホス	6
エトプロホス	6	トリアジメノール（合算）	0	プロボキシル	0
エトリムホス	6	トリアジメホン	0	プロマシル	0
エンドスルファン（和）	0	トリアゾホス	0	プロメトリン	0
エンドリン	0	トリアレート	0	プロモブチド	0
オキサジアゾン	0	トリブホス（DEF）	0	プロモプロビレート	0
オキサジキシル	0	トリフロキシストロピン	0	プロモホスエチル	6
オキサミル	0	トルクロホスメチル	6	プロモホスメチル	0
オキシフルオルフェン	0	トルフェンピラド	0	ヘキサジノン	0
オメトエート	6	ナプロパミド	0	ベナラキシル	0
カズサホス	6	ニトローアルイソプロピル	0	ベノキサコル	0
カルバリル	0	ノルフルラジン	0	ヘプタクロール	0
カルフェントラジンエチル	0	パクロブトラゾール	0	ベルメトリン（合算）	0
カルボフラン	0	パミドチオン	6	ベンダイオカルブ	0
キナルホス	6	パラチオン	6	ベンディメタリン	0
キノキシフェン	0	パラチオンメチル	6	ベンフルラリン	0
キノクラミン	0	ハルフェンプロックス	0	ベンフレセート	0
キントゼン	0	ビテルタノール（合算）	0	ホサロン	6
クマホス	6	ビフェントリン	0	ホスチアゼート（合算）	6
クロマゾン	0	ピペロホス	0	ホスファミドン	6
クロルタルジメチル（TCTP）	0	ピラクロホス	6	ホスメット	6
クロルデン	0	ピラゾホス	0	ホルモチオン	6
クロルピリホス	6	ピリダフェンチオン	6	ホレート	6
クロルピリホスメチル	6	ピリダベン	0	マラチオン	6
クロルフェンビンホス（合算）	6	ピリフェノックス（和）	0	マイクロブタニル	0
クロルフルアズロン	0	ピリプロキシフェン	0	メタミドホス	6
クロルプロファミ	0	ピリミカルブ	0	メタラキシル	0
クロルベンジレート	0	ピリミホスメチル	6	メチオカルブ	0
サリチオン	6	ピンクロゾリン	0	メチダチオン	6
シアノフェンホス	6	フェナミホス	6	メトキシクロル	0
シアノホス	6	フェナリモル	0	メトミノストロピン（和）	0
ジエトフェンカルブ	0	フェニトロチオン	6	メトラクロール	0
ジクロフェンチオン	6	フェノチオカルブ	0	メフェナセツト	0
ジクロホップメチル	0	フェノトリン（合算）	0	メプロニル	0
ジクロラン	0	フェノブカルブ	0	モノクロトホス	6
ジクロルボス	6	フェンスルホチオン	6	ルフェヌロン	0
ジコホール（合算）	0	フェンチオン	6	レナシル	0
				合計	342

表 1-11-5 平成 27 年度 畜水産物中の残留動物用医薬品検査

検体名 項目名	牛乳	加工乳	生乳	鶏卵	牛肉	豚肉	鶏肉	アユ	マダイ	コイ	ニジマス	ウナギ	ヒラメ	クルマエビ	ブリ(ハマチ)	生食用カキ	総計
	10	1	2	9	13	-	26	1	1	1	2	1	1	1	2	9	
オキシテトラサイクリン	10	1	2	9	13	-	24	1	1	1	2	1	1	1	2	9	78
クロルテトラサイクリン	10	1	2	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	59
テトラサイクリン	10	1	2	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	59
スピラマイシン	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	2	1	1	1	2	9	19
スルファメラジン	10	1	2	9	13	-	24	1	1	1	2	1	1	1	2	-	69
スルファジミジン	10	1	2	9	13	-	26	1	1	1	2	1	1	1	2	-	71
スルファモノメトキシシ	10	1	2	9	13	-	24	1	1	1	2	1	1	1	2	-	69
スルファジメトキシシ	10	1	2	9	13	-	24	1	1	1	2	1	1	1	2	-	69
スルファキノキサリン	10	1	2	9	13	-	24	1	1	1	2	1	1	1	2	-	69
スルファジアジン	-	-	-	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46
スルファチアゾール	-	-	-	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46
スルファドキシシ	-	-	-	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46
スルファメトキサゾール	-	-	-	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46
オキシリン酸	10	1	2	-	13	-	24	1	1	1	2	1	1	1	2	-	60
チアンフェニコール	10	1	2	9	13	-	24	1	1	1	2	1	1	1	2	-	69
オルメトプリム	10	1	2	9	13	-	24	1	1	1	2	1	1	1	2	-	69
チアベンダゾール	10	1	2	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	59
フルベンダゾール	10	1	2	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	59
トリメトプリム	10	1	2	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	59
5-プロピルスルホニル-1H-ベンズイミダゾール-2-アミン	10	1	2	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	59
レバミゾール	10	1	2	9	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	59
オフロキサシ	-	-	-	-	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37
オルビフロキサシ	-	-	-	-	13	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37
合計	160	16	32	171	286	-	530	10	10	10	20	10	10	10	20	18	1,313

表 1-11-6 平成 27 年度 組換え DNA 技術応用食品検査

品 種	検体種類	項 目	検体数	項目数
トウモロコシ	加工食品	トウモロコシ (CBH351)	5	5

表 1-11-7 平成 27 年度 放射能検査

対 象 食 品	検体数	依頼元
流通食品	250	食品安全課
保育所給食	陰膳 (提供食検査)	保育運営課
	食材検査	
学校給食	陰膳 (提供食検査)	保健体育課
	食材検査	
合 計	631	

表 1-11-8 平成 27 年度 苦情食品検査 (理化学検査)

搬入月	検 体 の 種 類	検体数	検 査 項 目
4 月	トマト	1	農薬 (57 項目)
5 月	豚汁	1	鑑別
6 月	チョコレートケーキ	1	鑑別
	メロン	1	農薬 (57 項目)
7 月	長いも	4	揮発性有機化合物 (19 項目)
	メロン	1	農薬 (57 項目)
	ハンバーグ	1	鑑別
9 月	ジャガイモ	1	農薬 (57 項目)
	茶豆	1	農薬 (57 項目)
10 月	茶飲料	2	重金属 (4 項目)
11 月	ハンバーグ	1	鑑別
	水	2	揮発性有機化合物 (19 項目)
	チョコレート	1	農薬 (57 項目)
	ししゃも	1	ヒスタミン
1 月	ビスケット	1	鑑別
2 月	チキン	1	揮発性有機化合物 (19 項目)
	りんご	3	揮発性有機化合物 (20 項目)
3 月	姫揚げ	2	揮発性有機化合物 (20 項目)

苦情食品等検査依頼数 18 件 依頼検体数 26 検体 589 項目

表 1-11-9 平成 27 年度 項目別苦情食品等検査依頼件数

項 目	依頼件数
農薬 (57 項目)	6
揮発性有機化合物	5
鑑別	5
ヒスタミン	1
重金属	1

表 1-12 平成 27 年度 家庭用品検査

検体名	項目名	ホルムアルデヒド			有機水銀	デイルドリン	水酸化カリウム・水酸化ナトリウム	メタノール	テトラクロロエチレン	トリクロロエチレン	容器試験	ジベンゾ（a・h）アントラセン	ベンゾ（a）アントラセン	ベンゾ（a）ピレン	検査数合計	検体数合計
		生後二十四ヶ月以内のもの	生後二十四ヶ月以内を除くもの	小計												
試験検査数合計		69	14	83	48	4	2	4	6	6	2	2	2	2	161	100
基準違反数合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
織 維 製 品	おしめ	2	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2
	おしめカバー	2	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2
	よだれ掛け	5	-	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	5
	下着	10	4	14	14	2	-	-	-	-	-	-	-	-	30	14
	中衣	8	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	8
	外衣	8	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	8
	手袋	3	2	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	5
	くつした	9	4	13	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	13
	帽子	6	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	6
	衛生パンツ	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	寝衣	10	2	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	12
寝具	6	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	6	
家庭用毛糸	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	
小計		69	12	81	42	4	0	0	0	0	0	0	0	127	84	
家庭用化学製品	家庭用接着剤	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
	くつしたどめ等接着剤	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
	家庭用塗料	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
	家庭用ワックス	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	くつ墨・くつクリーム	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	家庭用エアゾル製品	-	-	-	-	-	-	4	4	4	-	-	-	-	12	4
	家庭用洗浄剤	-	-	-	-	-	2	-	2	2	2	-	-	-	8	2
	防腐木材・防虫木材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	2	6	2
小計		0	2	2	6	0	2	4	6	6	2	2	2	34	16	

表 1-13-1 平成 27 年度 飲料水等及びプール水の検査種別件数

検体名	検査種別	一般依頼件数	保健所依頼件数	合計
飲料水等	全項目検査	15	0	15
	省略不可能項目検査	62	0	62
	必須項目検査	399	6	405
	有機塩素系検査	88	0	88
	給水設備関連項目検査	13	0	13
	消毒副生成物検査	8	0	8
	原水項目検査	4	0	4
	単項目検査（細菌検査分を含む）	180	0	180
	小 計	769	6	775
プール水		13	0	13
合 計		782	6	788

表 1-13-2 平成 27 年度 飲料水等の検体種別検査結果

検体種別	検査件数	適合件数	不適合件数	不適合率（%）
自家用井戸水	339	287	52	15.3
専用水道原水	100	100	0	0.0
専用水道浄水	248	242	6	2.4
小規模専用水道原水	8	6	2	25.0
小規模専用水道浄水	20	19	1	5.0
簡易専用水道	3	3	0	0.0
その他	57	54	3	5.3
合 計	775	711	64	8.3

表 1-13-3 平成 27 年度 自家用井戸水における区別必須項目検査結果

項目 区名	検査 件数	不 適合 数	不 適合 率 (%)	項 目 別 不 適 合 数									
				一般 細菌	大腸菌	亜硝酸 態窒素	硝酸・ 亜硝酸 態窒素	塩素 イオン	有機 物	pH 値	臭気	色度	濁度
中央区	22	5	22.7	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-
花見川区	19	5	26.3	3	-	-	2	-	1	-	1	-	-
稲毛区	9	5	55.6	2	-	-	3	-	-	-	-	-	-
若葉区	147	27	18.4	14	-	-	12	1	-	1	-	-	-
緑区	40	6	15.0	1	2	-	3	-	-	-	-	-	-
美浜区	4	1	25.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	241	49	20.3	24	4	0	20	1	1	1	1	0	0

表 1-13-4 平成 27 年度 項目別飲料水等理化学検査

	検査件数	不適合数	不適合率(%)
亜硝酸態窒素	499	5	1.0
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	499	20	4.0
塩化物イオン	499	1	0.2
有機物（全有機炭素（TOC）の量）	499	1	0.2
pH値	499	1	0.2
臭気	499	1	0.2
色度	499	1	0.2
濁度	501	3	0.6
カドミウム	19	0	-
水銀	19	0	-
セレン	19	0	-
鉛	32	0	-
ヒ素	27	0	-
六価クロム	19	0	-
シアン化物イオン及び塩化シアン	89	0	-
臭素酸	85	0	-
ホルムアルデヒド	85	0	-
フッ素	23	0	-
亜鉛	32	0	-
鉄	43	1	2.3
銅	32	0	-
ナトリウム	19	0	-
マンガン	46	1	2.2
カルシウム、マグネシウム等（硬度）	24	1	4.2
蒸発残留物	36	0	-
陰イオン界面活性剤	19	0	-
フェノール類	19	0	-
ホウ素	19	0	-
1,4-ジオキサン	19	0	-
アルミニウム	20	2	10.0
非イオン界面活性剤	19	0	-
ジオスミン	19	0	-
2-メチルイソボルネオール	19	0	-
クロロ酢酸	85	0	-
ジクロロ酢酸	85	0	-
トリクロロ酢酸	85	0	-
ジクロロメタン	19	0	-
シス1,2-ジクロロエチレン及びトランス1,2-ジクロロエチレン	19	0	-
ベンゼン	19	0	-
クロロホルム	85	0	-
ジブロモクロロメタン	85	0	-
ブロモジクロロメタン	85	0	-
ブロモホルム	85	0	-
総トリハロメタン	85	0	-
四塩化炭素	107	0	-
テトラクロロエチレン	107	1	0.9
トリクロロエチレン	107	0	-
1,1,1-トリクロロエタン	88	0	-
塩素酸	87	2	2.3
合 計	6,029	41	

表 1-13-5 平成 27 年度 プール水検査

検 査 項 目	検査件数
pH値	12
濁度	12
有機物等（過マンガン酸カリウム消費量）	12
総トリハロメタン	1
合 計	37

表 1-14 平成 27 年度 室内中化学物質検査

項 目	検査件数	検体数
ホルムアルデヒド	5	25

表 1-15 平成 27 年度 精度管理に関する業務

	内部精度管理		外部精度管理		
	実施頻度	実施項目	実施項目数 実施検体数	実施項目	実施機関
食品等	検査実施毎	試験品の検査項目毎に添加回収試験を実施	6項目 4検体	<ul style="list-style-type: none"> ・シロップ中の安息香酸の定量 ・かぼちゃペースト中の6種農薬中3種農薬の定性と定量 ・鶏肉ペースト中のスルファジミジンの定量 ・果実ペースト中の着色料の定性 	一般財団法人食品薬品安全センター
家庭用品	検査実施毎	試験品の検査項目毎に添加回収試験を実施	-	-	-
飲料水等	検査実施毎	約10試料毎及び最後に一定濃度の標準試料を測定し、算出濃度が規定値内かを確認	2項目 2検体	<ul style="list-style-type: none"> ・臭素酸 ・トリクロロ酢酸 	千葉県水道水質管理連絡協議会（水質検査精度管理委員会）
			3項目 2検体	<ul style="list-style-type: none"> ・亜硝酸 ・ジェオスミン、2-メチルイソボルネオール 	

(5) 内部精度管理・外部精度管理

検査の信頼性確保を目的として「千葉市食品衛生検査施設における検査等の業務管理要領」等に基づき、内部精度管理・外部精度管理を行った。

ア 細菌検査

各検査は、「標準作業書」に基づき実施した。また、食品検査に使用する機器類についても、GLPで規定した「機械器具保守管理標準作業書」に基づき保守点検を実施した。

(7) 内部精度管理

検査精度確認のため、生菌数検査を年4回実施した。

(イ) 外部精度管理

第三者機関である一般財団法人食品薬品安全センターから送付された検体について、微生物学的調査（大腸菌群検査）を実施した。

また、地方衛生研究所全国協議会が事業として実施した外部精度管理（コレラ菌及びレジオネラ属菌）に参加した。

イ ウイルス検査

地方衛生研究所外部精度管理（EQA）のインフルエンザウイルス核酸検出検査（リアルタイムRT-PCR法）及びノロウイルス遺伝子解析（シーケンス解析、分子系統樹解析）に参加した。

各検査は、国立感染症研究所から送付された検体について実施した。

ウ 理化学検査

内部精度管理は、食品等や家庭用品の理化学検査試行毎の精度確認であり、外部精度管理は、外部機関から送付される擬似食品等を通常と同様に検査を行い、他の検査施設との比較を目的に行うもので、食品等や飲料水等の理化学検査について行った。（表1-15）。

各検査は、「標準作業書」に基づき実施し、「検査標準作業書」は常に見直し、必要な改定を実施した。また、食品等や家庭用品検査に使用する機器類についても、GLPで規定した「機械器具保守管理標準作業書」に基づき保守点検を実施した。

(7) 食品等検査

保健所が「千葉市食品衛生監視指導計画」に基づき収去、買上した検体の検査については、「千葉市食品衛生検査施設における検査等の業務管理要領」に基づき実施した。

a 内部精度管理

検査精度確認のため、試験品の検査頻度に応じ、検査項目ごとに添加回収試験を実施した。

b 外部精度管理

第三者機関である一般財団法人食品薬品安全センターから送付された検体について延べ4回の検査を実施した。

(イ) 家庭用品検査

保健所が「千葉市家庭用品監視指導要領」に基づき試買した検体の検査については、「千葉市家

庭用品検査施設における検査等の業務管理要領」に基づき実施した。内部精度管理として、検査項目毎に件数に応じた頻度での添加回収試験を実施した。

(ウ) 飲料水等検査

一般及び行政依頼による検体の検査について、「水質基準に関する省令の規定に基づき厚生労働大臣が定める方法（平成15年厚生労働省告示第261号）」に基づき実施した。

a 内部精度管理

約10試料毎及び最後に一定濃度の標準試料を測定し、算出濃度が規定値内かを確認した。

b 外部精度管理

千葉県水道水質管理連絡協議会及び厚生労働省が実施する外部精度管理に参加し、延べ3回5項目について実施した。